

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場取引所 大

上場会社名 ラックホールディングス株式会社
 コード番号 3857 URL <http://www.lachd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 米田 光伸
 (氏名) 伊藤 信博

TEL 03-6757-0100

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	7,009	△1.2	107	—	50	—	△44	—
23年3月期第1四半期	7,097	△1.7	△141	—	△185	—	△241	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △41百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △189百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△2.72	—
23年3月期第1四半期	△11.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	19,669	5,961	30.3	194.10
23年3月期	20,143	7,245	35.9	203.50

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 5,950百万円 23年3月期 7,232百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	4.00	—	6.00	10.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	4.00	—	6.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、(参考)「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,410	△2.9	280	△16.3	140	△39.8	△125	—	△6.87
通期	33,500	0.3	1,500	0.7	1,235	△5.1	470	△44.8	14.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(参考) 連結EBITDA予想 第2四半期連結累計期間 930百万円 通期 2,736百万円

1株当たり当期純利益の金額は、平成23年5月13日の決算短信で公表いたしました平成24年3月期の連結業績予想において△8円84銭(第2四半期累計)、10円86銭(通期)としておりましたが、平成23年6月24日付でA種優先株式10株のうちの5株を消却したことにより、それぞれ△6円87銭、14円67銭となります。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	26,683,120 株	23年3月期	26,683,120 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	1,302,320 株	23年3月期	1,452,390 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	25,257,168 株	23年3月期1Q	25,586,283 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料]7ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
2. 連結業績及び連結業績予想における1株当たり情報は普通株式に係る数値です。

(参考)

1. 種類株式の配当の状況

当社は、平成21年11月30日付でA種優先株式10株を1株当たり200百万円の発行価額にて発行しております。また、平成23年6月24日に5株を消却した結果、平成23年6月30日現在の当優先株式残高は5株となっております。当優先株式は非上場であり、年9.80%の配当率にて配当が付されております。

なお、普通株式と権利関係の異なる種類株式に係わる1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
A種優先株式					
23年3月期	—	9,800,000 00	—	9,800,000 00	19,600,000 00
24年3月期	—				
24年3月期(予想)		9,800,000 00	—	9,800,000 00	19,600,000 00

以上のとおり、1株当たり19,600,000円00銭の配当により、平成24年3月期通期の当優先株式の配当金総額は、98百万円を予定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	6
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	7
2. サマリー情報（その他）に関する事項	8
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	8
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	8
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	8
3. 四半期連結財務諸表	9
(1) 四半期連結貸借対照表	9
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	11
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	11
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	12
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(4) 継続企業の前提に関する注記	15
(5) セグメント情報等	15
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	17

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、本年3月に発生した東日本大震災により大きな打撃を受けました。その後生産・輸出などに回復傾向もみられましたが、継続的な円高や雇用環境の低迷など、厳しい状況で推移しました。

当社グループの属する情報サービス業界においても、新規案件の延期や小型化、提供サービス価格の低減要請などがみられ、企業のIT投資には慎重な姿勢が継続しました。

このような状況のなか、当社グループは、企業への不正アクセスによる大規模な情報流出事故の発生などにより高まった、情報セキュリティへのニーズに対応したサービスを提供するとともに、日本スマートフォンセキュリティフォーラム（J S S E C）の設立に参画し、多様な角度からスマートフォン関連ビジネスへの展開を図ってまいりました。また、日本全国で節電意識が高まるなか、電力消費量の把握と削減に貢献する新規ソリューションの創出に取り組んでまいりました。さらに、来年4月の統合に向け、グループ内の営業組織の統合的な運用により、各事業会社からの共同提案を推進するなど、お客様との取引深耕に注力しております。資本政策としては、優先配当の支払負担を軽減するとともに、より資本政策の自由度が高い体制を目指し、A種優先株式の一部取得および消却を実施したほか、経営責任の明確化と業績向上への貢献意欲を高めるため、当社グループの役員などを対象に第三者割当により自己株式を処分いたしました。

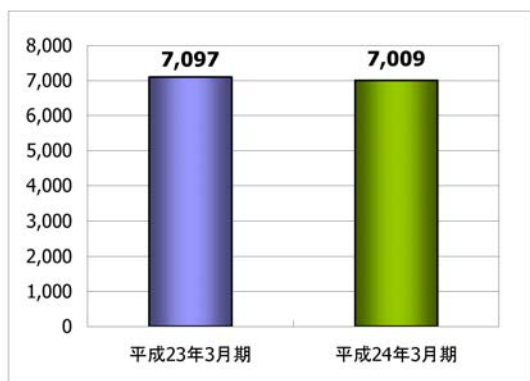
当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は、セキュリティソリューションサービス事業とディーラー事業では増加したものの、システムインテグレーションサービス事業では減少し、70億9百万円（前年同四半期比1.2%減）となりました。利益面では、セキュリティサービスやディーラー事業のSEサービスの売上が増加したため、売上総利益が24百万円増加したことに加え、コスト低減の徹底により販売費及び一般管理費を前年同四半期に比べ2億24百万円削減したため、営業利益は1億7百万円（前年同四半期は営業損失1億41百万円）、経常利益は50百万円（前年同四半期は経常損失1億85百万円）、四半期純損失は44百万円（前年同四半期は四半期純損失2億41百万円）となりました。

当第1四半期連結累計期間における業績の前年同四半期比は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (平成22年4月1日～ 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (平成23年4月1日～ 平成23年6月30日)	前年同四半期比	
			増減額	増減率 (%)
売上高	7,097	7,009	△88	△1.2
売上原価	5,683	5,571	△112	△2.0
売上総利益	1,414	1,438	24	1.7
販売費及び一般管理費	1,555	1,331	△224	△14.4
営業利益	△141	107	248	—
経常利益	△185	50	235	—
四半期純利益	△241	△44	197	—
E B I T D A	146	407	261	178.5

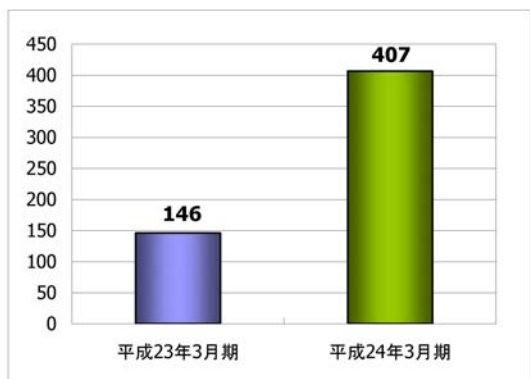
[連結売上高の前年同四半期比 単位:百万円]



[連結営業利益の前年同四半期比 単位:百万円]



[連結EBITDAの前年同四半期比 単位:百万円]



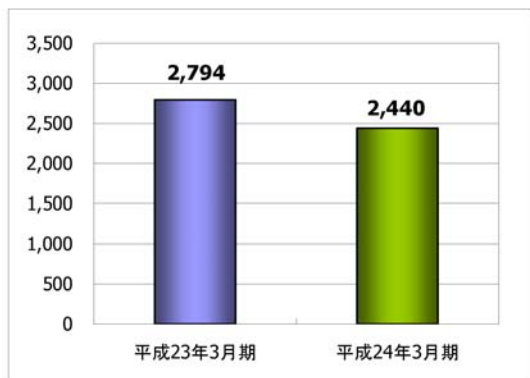
セグメントの業績は次のとおりであります。

システムインテグレーションサービス事業 (S I S 事業)

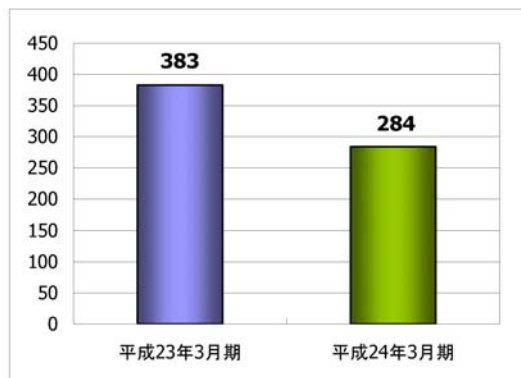
(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (平成22年4月1日～ 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (平成23年4月1日～ 平成23年6月30日)	前年同四半期比	
			増減額	増減率 (%)
開発サービス	2,476	2,240	△235	△9.5
ソリューションサービス	150	125	△24	△16.4
関連商品	167	73	△94	△56.1
売上高	2,794	2,440	△354	△12.7
セグメント利益	383	284	△98	△25.7

[売上高の前年同四半期比 単位:百万円]



[セグメント利益の前年同四半期比 単位:百万円]



開発サービスは、主力銀行関連の案件開始時期が遅延するなど受注が減少し、売上高は22億40百万円（前年同四半期比9.5%減）となりました。

ソリューションサービスは、自治体向け案件を継続的に受注したものの、前年同四半期に貢献した初期構築案件が減少し、売上高は1億25百万円（同16.4%減）となりました。

関連商品は、インフラ構築に伴う新規製品需要が伸び悩んだことにより、売上高は73百万円（同56.1%減）となりました。

この結果、おおむね、受注環境の厳しさを織り込んだ計画に沿って推移しておりますが、S I S 事業の売上高は24億40百万円（同12.7%減）、セグメント利益は2億84百万円（同25.7%減）となりました。

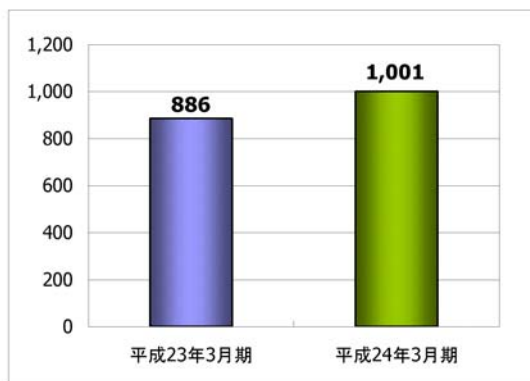
セキュリティソリューションサービス事業（SSS事業）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 (平成22年4月1日～ 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (平成23年4月1日～ 平成23年6月30日)	前年同四半期比	
			増減額	増減率 (%)
コンサルティングサービス	195	264	69	35.3
構築サービス	28	580	51	9.8
運用監視サービス	500			
関連商品	161	155	△6	△3.9
売上高	886	1,001	114	12.9
セグメント利益	△33	114	148	-

（注）構築サービスは、当期より監視サービスに関連する案件の取扱いに限定するため、運用監視サービスに含めております。

[売上高の前年同四半期比 単位:百万円]



[セグメント利益の前年同四半期比 単位:百万円]



コンサルティングサービスは、頻発するセキュリティ事故に伴う緊急対応サービス、およびそこから派生する継続的なコンサルティング案件が増加傾向にあり、売上高は2億64百万円（前年同四半期比35.3%増）となりました。

運用監視サービスは、セキュリティへの関心の高まりとともに診断サービスの新規受注が増加し、監視サービスにおいても既存案件の契約更新が堅調であったため、売上高は5億80百万円（同9.8%増）となりました。

関連商品は、緊急対応案件や既存案件において商品販売、保守に注力したものの、売上高は1億55百万円（同3.9%減）となりました。

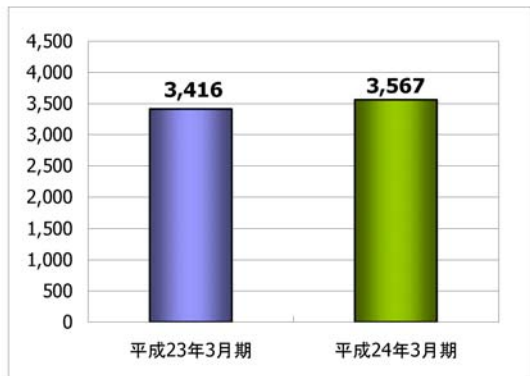
この結果、SSS事業の売上高は10億1百万円（同12.9%増）、セグメント利益は1億14百万円（前年同四半期はセグメント損失33百万円）となりました。

ディーラー事業

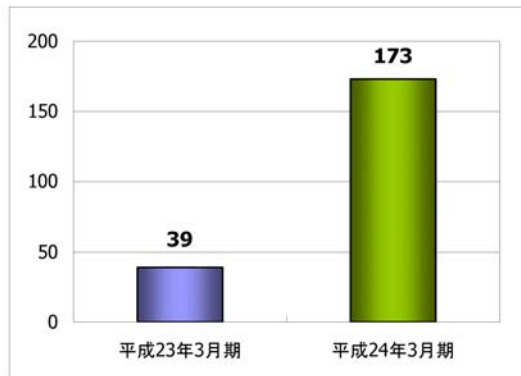
(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (平成22年4月1日～ 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (平成23年4月1日～ 平成23年6月30日)	前年同四半期比	
			増減額	増減比 (%)
HW/SW販売	1,290	1,244	△45	△3.6
SEサービス	566	796	229	40.6
保守サービス	1,559	1,526	△32	△2.1
売上高	3,416	3,567	151	4.4
セグメント利益	39	173	134	342.2

[売上高の前年同四半期比 単位:百万円]



[セグメント利益の前年同四半期比 単位:百万円]



HW/SW販売は、主力銀行関連の案件受注の遅れによる減少があったものの、地方銀行・保険関連企業からの受注が寄与し、売上高は12億44百万円（前年同四半期比3.6%減）となりました。

SEサービスは、システム構築・導入案件において、前期下期の順調な受注が寄与し、売上高は7億96百万円（同40.6%増）となりました。

保守サービスは、前期堅調であったHW/SW販売に付随する保守契約が下支えとなり、売上高は15億26百万円（同2.1%減）となりました。

この結果、ディーラー事業の売上高は35億67百万円（同4.4%増）、セグメント利益は1億73百万円（同342.2%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債、純資産に関する分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4億73百万円減少し、196億69百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少3億93百万円、受取手形及び売掛金の減少14億9百万円、前払費用の増加12億2百万円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ8億9百万円増加し、137億7百万円となりました。これは主に買掛金の減少2億76百万円、短期借入金の増加2億95百万円、未払法人税等の減少3億42百万円、前受収益の増加15億93百万円、長期借入金の減少2億20百万円等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ12億83百万円減少し、59億61百万円となりました。これは主に優先株式の取得及び消却などによる資本剰余金の減少10億29百万円、期末配当などによる利益剰余金の減少2億93百万円等によるものであります。この結果、自己資本比率は30.3%となりました。

(2) キャッシュ・フローに関する分析

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、25億90百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億93百万円の減少となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、12億69百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益45百万円に減価償却費1億14百万円、のれん償却額1億85百万円、売上債権の減少額14億10百万円、法人税等の支払額4億17百万円等を反映したものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、4億46百万円になりました。これは主に有形固定資産の取得による支出1億2百万円、ソフトウェアの取得による支出3億30百万円等を反映したものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、12億17百万円となりました。これは主に短期借入金の純増加額2億95百万円、長期借入金の返済による支出2億20百万円、優先株式の取得による支出10億22百万円、配当金の支払額2億18百万円等を反映したものであります。

(参考) キャッシュ・フロー指標のトレンド

	平成22年3月期 第1四半期 連結累計期間	平成23年3月期 第1四半期 連結累計期間	平成24年3月期 第1四半期 連結累計期間	平成22年3月期	平成23年3月期
自己資本比率 (%)	23.3	29.1	30.3	30.6	35.9
時価ベースの自己資本比率 (%)	32.8	23.0	27.9	22.9	27.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	141.7	404.4	142.0	347.2	322.8
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	37.4	13.2	40.9	13.2	15.2
E B I T D A (百万円)	△73	146	407	1,852	2,781
営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	1,877	504	1,269	2,493	2,244
投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△167	△219	△446	△1,248	962
財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△866	△690	△1,217	△1,336	△2,586
フリーキャッシュ・フロー (百万円)	1,710	284	823	1,244	3,207
ネットキャッシュ・フロー (百万円)	844	△406	△393	△87	609
1株当たり当期純利益又は1株当たり四半期(当期)純損失(△)(EPS)(円)	△16.88	△11.34	△2.72	△18.57	25.73
1株当たりの営業キャッシュ・フロー(円)	71.34	19.71	50.27	96.75	88.16
1株当たりのフリーキャッシュ・フロー(円)	64.97	11.13	32.60	48.29	125.96

※ 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

E B I T D A：営業利益＋減価償却費＋のれん償却額

フリーキャッシュ・フロー：営業キャッシュ・フロー＋投資キャッシュ・フロー

ネットキャッシュ・フロー：現金及び現金同等物の増減額

- (1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
- (2) 時価ベースの自己資本比率における株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。
- (3) キャッシュ・フロー対有利子負債比率、インタレスト・カバレッジ・レシオにおけるキャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを使用しております。
- (4) キャッシュ・フロー対有利子負債比率における有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利息を支払っている全ての負債を対象としております。
- (5) キャッシュ・フロー対有利子負債比率の当第1四半期連結累計期間での計算は、営業キャッシュ・フローを年換算しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

慎重なIT投資傾向、継続的な円高や電力供給の制約など、景気が下振れするリスクも内在しておりますが、当第1四半期連結累計期間の業績が、おおむね、計画通りに推移しており、平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年5月13日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間業績予想及び通期業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,984,529	2,590,775
受取手形及び売掛金	4,909,491	3,499,782
商品	358,528	433,771
仕掛品	180,179	284,878
貯蔵品	3,617	2,997
前払費用	1,754,215	2,956,559
その他	376,161	457,376
貸倒引当金	△2,311	△1,930
流動資産合計	10,564,411	10,224,210
固定資産		
有形固定資産	1,241,670	1,241,483
無形固定資産		
のれん	3,559,816	3,373,771
その他	1,230,195	1,346,916
無形固定資産合計	4,790,012	4,720,687
投資その他の資産		
繰延税金資産	2,097,920	2,034,129
その他	1,449,194	1,448,981
投資その他の資産合計	3,547,114	3,483,111
固定資産合計	9,578,798	9,445,282
資産合計	20,143,210	19,669,492
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,931,254	1,654,548
短期借入金	606,765	902,152
1年内返済予定の長期借入金	980,000	980,000
1年内償還予定の社債	234,000	167,000
未払法人税等	381,616	39,192
前受収益	1,847,825	3,441,448
賞与引当金	72,959	29,260
受注損失引当金	24,382	14,705
その他	1,515,409	1,445,394
流動負債合計	7,594,213	8,673,701
固定負債		
社債	250,000	250,000
長期借入金	4,532,000	4,312,000
退職給付引当金	55,673	52,073
負ののれん	4,947	4,397
その他	461,367	415,333
固定負債合計	5,303,987	5,033,804
負債合計	12,898,201	13,707,506

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	5,675,838	4,646,463
利益剰余金	975,997	682,254
自己株式	△368,426	△330,358
株主資本合計	7,283,408	5,998,360
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△36,293	△35,085
繰延ヘッジ損益	△2,111	—
為替換算調整勘定	△12,640	△12,554
その他の包括利益累計額合計	△51,045	△47,639
少数株主持分	12,644	11,266
純資産合計	7,245,008	5,961,986
負債純資産合計	20,143,210	19,669,492

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	7,097,801	7,009,572
売上原価	5,683,699	5,571,327
売上総利益	1,414,101	1,438,245
販売費及び一般管理費	1,555,862	1,331,128
営業利益又は営業損失(△)	△141,760	107,116
営業外収益		
受取利息	100	37
受取配当金	15,119	604
負ののれん償却額	549	549
保険解約返戻金	—	1,591
その他	5,561	2,388
営業外収益合計	21,331	5,172
営業外費用		
支払利息	37,578	33,711
支払手数料	24,095	26,511
その他	3,832	2,010
営業外費用合計	65,507	62,233
経常利益又は経常損失(△)	△185,935	50,055
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,529	—
特別利益合計	1,529	—
特別損失		
固定資産除却損	35,932	751
事務所移転費用	48,509	—
特別退職金	352	3,477
特別損失合計	84,794	4,229
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△269,200	45,825
法人税、住民税及び事業税	12,535	8,634
法人税等調整額	△41,269	82,261
法人税等合計	△28,734	90,896
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△240,466	△45,070
少数株主利益又は少数株主損失(△)	944	△713
四半期純損失(△)	△241,410	△44,357

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△240,466	△45,070
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	53,967	1,208
繰延ヘッジ損益	3,374	2,111
為替換算調整勘定	△6,781	49
その他の包括利益合計	50,560	3,369
四半期包括利益	△189,905	△41,701
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△189,747	△40,952
少数株主に係る四半期包括利益	△158	△748

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△269,200	45,825
減価償却費	100,504	114,737
のれん償却額	187,509	185,495
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,529	△380
賞与引当金の増減額(△は減少)	△22,584	△43,699
受注損失引当金の増減額(△は減少)	312	△9,677
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,163	△3,570
受取利息及び受取配当金	△15,220	△642
支払利息	37,578	33,711
為替差損益(△は益)	1,955	10
固定資産除却損	35,932	751
事業所移転費	48,509	—
売上債権の増減額(△は増加)	2,139,381	1,410,039
たな卸資産の増減額(△は増加)	△212,338	△179,321
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△1,328,890	△1,305,203
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,352,512	△277,194
未払消費税等の増減額(△は減少)	△68,131	28,640
その他の流動負債の増減額(△は減少)	1,662,975	1,701,896
その他	△116,618	15,866
小計	829,798	1,717,287
利息及び配当金の受取額	15,396	642
利息の支払額	△38,250	△31,007
移転費用の支払額	△47,554	—
法人税等の支払額	△255,150	△417,319
営業活動によるキャッシュ・フロー	504,239	1,269,601

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△289,483	△102,058
ソフトウェアの取得による支出	△136,493	△330,568
子会社株式の売却による収入	200,000	—
貸付けによる支出	△8,716	—
貸付金の回収による収入	21,420	327
敷金及び保証金の差入による支出	△6,154	△13,805
敷金及び保証金の回収による収入	20	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△219,406	△446,104
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△4,762	△15,706
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△237,500	295,386
長期借入金の返済による支出	△195,000	△220,000
社債の償還による支出	△67,000	△67,000
自己株式の売却による収入	9	31,515
自己株式の取得による支出	△77	△1,022,821
配当金の支払額	△186,156	△218,050
少数株主への配当金の支払額	—	△629
財務活動によるキャッシュ・フロー	△690,487	△1,217,307
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,051	56
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△406,705	△393,753
現金及び現金同等物の期首残高	2,375,516	2,984,529
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,968,810	2,590,775

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	システムイ ンテグレー ションサー ビス事業	セキュリ ティソリ ューショ ンサービ ス事業	ディーラー 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上 高	2,794,790	886,304	3,416,406	7,097,501	300	7,097,801	—	7,097,801
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	37,455	6,842	10,441	54,739	—	54,739	△54,739	—
計	2,832,245	893,147	3,426,848	7,152,241	300	7,152,541	△54,739	7,097,801
セグメント利益又は 損失(△)	383,232	△33,233	39,253	389,252	300	389,552	△531,312	△141,760

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の非連結子会社に対する業務受託収入であります。

2. セグメント損失の調整額△531,312千円には、セグメント間取引消去△11,696千円および各報告セグメントに配分していない全社費用△519,615千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	システムイ ンテグレー ションサー ビス事業	セキュリ ティソリ ューショ ンサービ ス事業	ディーラー 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上 高	2,440,201	1,001,079	3,567,943	7,009,224	348	7,009,572	—	7,009,572
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	72,053	3,960	24,170	100,185	—	100,185	△100,185	—
計	2,512,255	1,005,039	3,592,114	7,109,409	348	7,109,757	△100,185	7,009,572
セグメント利益	284,929	114,856	173,564	573,350	348	573,698	△466,582	107,116

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の非連結子会社に対する業務受託収入等であります。

2. セグメント利益の調整額△466,582千円には、セグメント間取引消去29,757千円および各報告セグメントに配分していない全社費用△496,339千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年6月24日付で、A種優先株式5株を取得し、同日付で消却いたしました。この結果、当第1四半期連結会計期間においてその他資本剰余金が1,022,821千円減少しております。